



いきいき仲間たち

喜んでもらえる写真をこれからも

全日本写真連盟 (個人会員)

せいぞう
青柳 征三さん

今から15、6年前、旅先の思い出に撮った1枚の写真。その写真を何気なくコンテストに応募し入選したことがきっかけで写真の楽しさや奥深さを知り、今も撮り続けているという青柳征三さん。「写真の楽しみ方は十人十色」。「撮った写真をみんなに見てもらおうと感動を共有し喜んでもらえる。「気分が明るくなるし元気になる」と言ってもらえることがうれしい」と、青柳さんの写真の楽しみ方を教えてくださいました。

青柳さんは、12年ほど前から加入している「一宮町地引網保有会」の漁師さんと夏の間は毎週、一緒に船に乗り、漁の様子を撮っている他、自分の印象に残った風景や人物などさまざまな写真を撮っています。中でも思い出深い写真は、真冬の海を題材にコンテストで受賞した作品。「3時間歩き続け、ようやく納得のいく3カットが撮れた」と振り返り、「厳しい寒さの中シャッターチャンスを見つけるは大変。失敗の方が多く、受賞するとまた撮りに行きたくなる」と微笑みました。

青柳さんは、過去に国際的なコンテストに応募し受賞した経験がある他、千葉県や東京都で開催されるコンテストでも数多く受賞しています。コンテストの表彰式で耳にした「主役・

脇役が必要な写真もある」というプロの写真家のひと言がとても印象的で、今も撮る時は意識しているそうです。

今後は「地引網漁の写真を含めさまざまな写真を撮りたい。そしてまずは写真を見た人が喜んで癒されたり、色々と感じてもらえたらうれしい。賞はその結果、貰えればうれしい、それは努力して撮った自分へのご褒美」と話し、まだまだ「写真を楽しみたい」という気持ちがあふれていました。



▲57th FUJIFILM PHOTO CONTEST 日本の文化部門 金賞 「伝統漁の和」

防災・防犯に関する情報をメールで配信

もばら安全・安心メール を
ご利用ください

登録

右のQRコードを読み取るか、下記メールアドレスに空メールを送信後、返信されたメールに記載されている手順に従って登録してください。

touroku.mobara-city@raidan2.ktaiwork.jp



※高齢者等を対象に、防災情報を自宅の電話・FAXに配信するサービスも行っています。

問合せ 防災対策課(4階) ☎(36)7580 FAX (20)1602

今月の日曜開庁	2月25日(日) 8時30分～17時15分
市民課(2階)	☎(20)1502
市民税課(2階)	☎(20)1577
収税課(2階)	☎(20)1578
本納支所(ほのおか館内)	☎(34)2111
証明書等交付時間を延長	毎週水曜日 19時まで
市民課(2階)	☎(20)1502

※一部取り扱えない業務もありますので、詳しくはお問い合わせください。

日曜・休日当番医	診療時間 9時～17時	
	《内科系》	《外科系》
2月4日(日)	睦沢診療所 ☎(44)2236	穴倉病院 ☎(24)2171
2月11日(日)	鵜澤医院 ☎(34)2008	須田外科・歯科医院 ☎(23)7748
2月12日(月祝)	むなかたクリニック ☎(44)5155	菅原病院 ☎(25)1171

※都合により、変更する場合があります。救急患者が優先となります。消防本部☎(24)0119、FAX(25)8448へお問い合わせください。

防災行政無線が再確認できます

しみんは 119

☎0120(438)119
(通話無料)

【人口と世帯数】 令和6年1月1日現在
 ●総人口 86,613人 ●世帯数 41,895世帯
 ●男 42,830人 ●女 43,783人
 【12月中の動き】
 ●転入 221人 ●転出 158人 ●出生 24人 ●死亡 105人